

燃やせるゴミ

なの？

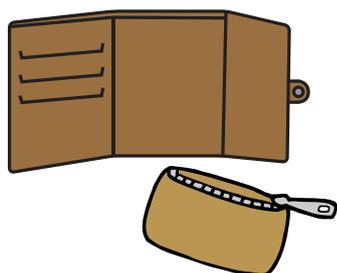
燃やせないゴミ

なの？

ゴミの中には、1つの材質だけでなく「燃やせるもの(木、プラスチック、布)」と「燃やせないもの(金属、ガラス)」との組み合わせでできているものが多数あります。

これらのものは、主に何の材質でできているかで判断してください。

燃やせるゴミの分別例



● 財布

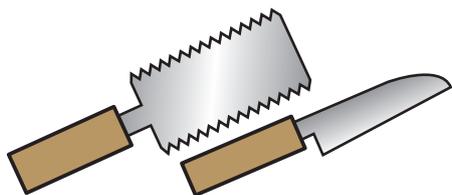
ボタンやチャック部分は金属ですが、主に革(布)でできているため、「燃やせるゴミ」となります



● 使い捨てカミソリ

小さな刃(金属)がありますが、大部分がプラスチック製なので、「燃やせるゴミ」となります

燃やせないゴミの分別例



厚紙などに包む

● のこぎり・包丁

柄の部分は木製ですが、刃の部分が金属なので、「燃やせないゴミ」となります

※簡単にハサミで切ったり、外したりできるものであれば、燃やせる部分と燃やせない部分を区別して出して下さい。

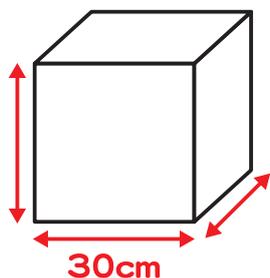
袋に入れるの？

粗大ゴミ

で出すの？

収容用品や電化製品などのかさばるもので、燃やせるゴミや燃やせないゴミとして袋に入れて出すのか、粗大ゴミとして出すのか迷うものがあります。これらのものは、大きさや重さでどちらとして出すのか判断してください。

● 一般的な判断基準



縦(高さ)・横(幅、長さ)・奥行きの内、どれかが30cm未満か30cm以上かで判断ください

・ 30cm未満⇒燃やせるゴミ

または 燃やせないゴミ

・ 30cm以上⇒粗大ゴミ

※長さが30cm以上でも、のこぎりやパソコンのキーボードなどの薄いものは袋に入れてください
※長さが30cm未満でも、袋が破れるような重いものは粗大ゴミとしてください